

公益財団法人 日本野鳥の会
野鳥観察・撮影の初心者の方に向けた、マナーのガイドラインを策定
「野鳥や人に迷惑をかけない、マナーを守った野鳥観察・撮影を！」

公益財団法人日本野鳥の会では、誰にでも楽しめるバードウォッチングの普及を進めていますが、この度、野鳥観察・撮影の初心者に向けたマナーのガイドラインを策定いたしました。

■ガイドライン策定の背景

近年、鉄道ファンの写真撮影におけるマナー問題が大きな社会現象となっていますが、野鳥の観察・撮影の世界でも同様の問題が頻出しています。

加えて、SNSの普及により情報の拡散速度がアップしたことで、珍しい野鳥の出現情報などをSNSに載せることで、そこに多数の人たちが押し寄せてしまい、野鳥だけでなく、一般の公園利用者や地元住民に迷惑をかける事例が発生しています。こうした事案が増えているのには、野鳥観察・撮影の初心者の方が、野鳥とその生息環境、また近隣住民の皆さんにとって「どんな行動がマナー違反か」に、思いが至らないことが多いためと考えられます。

■マナーを知っていることで防げることがたくさんあります

こうしたことから、日本野鳥の会では、バードウォッチングを始める段階で、皆さんに野鳥の観察・撮影のマナーを知ってもらうことが重要と考え、このガイドラインを策定しました。

ガイドラインには、「野鳥にとってどんな行為が迷惑なのか」、「野鳥を見たい気持ちや撮影したい気持ちの前に気をつけなければならないことは何か」などが盛り込まれています。特に、「珍しい野鳥の出現情報や写真をすぐには公開しない」など、昨今問題になっている行為について注意喚起をしています。

少し厳しいことが書いてありますが、野鳥に対するマナー、一緒にバードウォッチングを楽しむ方へのマナー、観察・撮影地を利用する一般の方に対するマナー等、頭の片隅に置いておくことで、皆さんが気持ちよく野鳥観察や野鳥撮影を楽しんでいただくことを願っています。



道をふさいだり、営巣中の巣や鳥にちかづかないなどの
野鳥観察・撮影のマナーを守りましょう

■マナー問題の事例

- ・珍しい野鳥の写真が撮れたので、撮影した公園名と一緒に、気軽に SNS に投稿したら、大勢の人が押し寄せてしまい、公園や利用者に迷惑をかけることになってしまった。
- ・野鳥が巣で子育てをしている写真が可愛かったので SNS に投稿したら、たくさんの方からお叱りのコメントが来てしまった。
- ・座って撮影していたカメラマンの方に「何かいるのですか？」と聞いたら、「あなたが近づいてきたせいで、1時間も待っていた野鳥が飛び立ってしまった」と怒られてしまった。

■ガイドラインからの抜粋(初心者の方がやってしまいがちな点)

●「営巣中、育雛中の野鳥や巣へは近づかない」

巣や巣立ち雛に遭遇した場合、すみやかにその場を離れるようにしましょう。親鳥は卵やヒナを守るために神経をとがらせています。人間の存在がストレスの原因となり、「この場所は危険」と判断して親鳥が巣や抱卵を放棄することや、早すぎる巣立ちが起こる可能性があります。また、親鳥が驚き、あるいは警戒し、巣を離れてしまった場合、卵やヒナが捕食者にさらされたり、低温にさらされたり、繁殖に悪影響を与えてしまう可能性もあります。

●「稀な渡り鳥等の画像や映像、情報は、鳥が撮影地からいなくなってから」

迷鳥や希少な野鳥を撮影したときは、その鳥がいなくなってから公開するようにしましょう。画像や映像の有無に関わらず、珍しい野鳥の情報も同様です。

わずかな情報からでも、その場所を探し出し、たくさんの方が集まるリスクがあります。その野鳥が、その場所から去るのを待ってから「すでにいなくなった」という記述とともに公開することで、野鳥にストレスを与えることや、周辺住民への迷惑も防ぐことができます。

***ガイドライン全文は、添付資料をご覧ください。**

***本文書中のイラストを提供いたします。以下までお問合せください。**

報道関係者様 問い合わせ先:

■公益財団法人 日本野鳥の会 普及室 普及教育グループ 担当:富岡・江面(エヅラ)

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL: 03-5436-2622(火・木 13~15時)

FAX: 03-5436-2635 / E-mail:shitsumon@wbsj.org

URL:https://www.wbsj.org/